

## エコツーリズム推進事業

### －No.8 飯能市－

#### 【事業の内容】

飯能市のエコツーリズムは、飯能市を訪れる方に、地域の自然や歴史、生活文化をご案内し、楽しんでいただけるようなエコツアーを開催しています。

また、訪れる方に満足していただくだけでなく、地域の魅力の源である自然を守り、文化を継承していくとともに、地域の方が地域の魅力を再発見し、地域が元気になれる事業となっています。

里地里山という自然環境を生かした「里山お散歩ツアー」や「古民家体験」などの四季折々の楽しいツアーや、放棄され荒れていた谷津田の復元といった直接的に環境保全に役立つツアーなど、年 100 件以上の多彩なプログラムを行っています。

#### 【事業年度】

平成 16 年度から

#### 【予算額(千円)】

8,463 千円（平成 28 年度）

#### 【財源】

一般財源（市）

#### 【事業実施に至った背景・経緯】

飯能市は、都心から電車で 1 時間という交通の便の良さと親しみやすい自然があることから、身近なレクリエーションの場となっています。しかしながら遠足やハイキング、川遊びに訪れる観光客の多くが自然に負荷を与え、また、地域住民と観光客がほとんど関わりを持つことなく帰ってしまう状況が続いていました。

このようなことから、本市では身近で豊かな自然資源や歴史文化資源、地域の個性ある生活・習慣などを保全するとともに、地域との交流や地域の振興に

つなげていくための有効な手段として、エコツーリズムの考え方を取り入れることとし、平成 16 年度からエコツーリズムの取組を始めました。

## 【事業のPRポイント】

- 地域の活性化

本市のエコツアーは、市内の住民団体や NPO 団体などが企画・実施の全てを行っています。地域住民自らがエコツアーを企画・実施することにより、地域の自然や文化を見つめ直し、来訪者との交流を通じて、地域への誇りと愛着を育むことにつながっています。

- まちの PR

平成 20 年度に環境省の「第 4 回全国エコツーリズム大賞」を受賞し、「エコツーリズムのまち飯能」として、そして里地里山型のエコツーリズムの全国的な先進地として、市外・海外からも大勢の方がエコツアーに参加したり、視察研修に来るようになってきました。また、イベントへの出展や講演、新聞やラジオなどのメディア掲載など、本市の魅力として広く発信しています。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

開始から 10 年が経過し、様々なエコツアーが展開されています。平成 25 年度には 147 のエコツアーが実施され、約 4,700 人の参加者がありました。

また、エコツーリズムに取り組むことにより、飯能のファンの増加や地域の魅力の再発見、里山の保全や環境教育の推進、地域経済への貢献といった効果が生まれています。

今後の展開として、飯能市の魅力を発信し、質が高く満足度の高いエコツアーの提供を続けていくため、エコツアー実施者の知識や技術の習得に役立つ研修会の実施や、実施者同士の交流・情報交換ができる機会を定期的に設けるなど、エコツーリズムに関わる人々の人材育成や相互協力体制づくりを進めます。

## 【参考資料】

エコツーリズムのまち 飯能

〔 連絡先 〕 観光・エコツーリズム推進課エコツーリズム担当

042(973)2123

# エコツーリズムのまち

# 飯能

はんのう

飯能市を訪れる方に、

地域の自然や歴史、生活文化を

ご案内し、体験し、

楽しんでいただく。

これが飯能市のエコツーリズムです。

訪れる方に満足してもらうことのほかに

大切なことがあります。

それは、地域の魅力の源である自然を守り、

文化を継承することです。

そして、そこに暮らす私たちが

地域の魅力を再発見し、

地域が元気になっていくことです。





### 吾野

- 1,2 宿場町の風情が残る街並みを見る
- 3 山の学校で遠くまで一日
- 4 トゲに気をつけながらユズをとる
- 5 おばあちゃんの干し柿づくり
- 6 女性限定の山登りツアー



### 名栗

- 1 地元の名産の食材をいただく
- 2 古民家で豆の漉しを体験
- 3 伝統的な獅子の舞を楽しむ
- 4 木製カヌーに乗ってブラックバスの駆除
- 5 紅葉の山を訪ねる
- 6 郷土の食を味わうランチャタイム
- 7 手づくりコンニャクに舌づみ

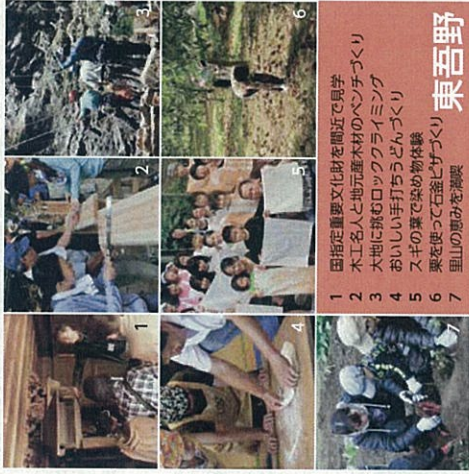


### 原市場

- 1 足腰守備の程を駆ける
- 2.3 アートな家々を訪ねる
- 4.5 西川材の産をめぐる
- 6 地域のお祭りに参加する
- 7 花咲里を歩く

# 地元ガイドが 地元言葉で ごあんない

インドアもアウトドアも



### 東吾野

- 1 田指定重要文化財を簡易で見学
- 2 木工人と地元産木材のベンチづくり
- 3 大地に咲くロックワイルディング
- 4 おいしい手打ちうどんづくり
- 5 スキの雪で楽しむ物体験
- 6 梁を使って石造りづくり
- 7 里山の恵みを深める



### 精明

- 1,2 泥だらけになっても楽しい田植え体験
- 3,4 固定種野菜をおいしくいただく
- 5 秋野菜の収穫体験
- 6 市内の七福神をお参り



### 加治

- 1 大人の遠足 酒蔵探訪
- 2 楽しみながら竹林を手入れ
- 3 キノコの栽培に挑戦
- 4 農歌まじりでお茶摘み体験
- 5 湧水のあふれる風情を訪ねる
- 6 漁協とブラックバスの駆除
- 7 しめ縄を作って新年を迎える



### 飯能

- 1 身近にすむムササビのくらしを知る
- 2 河原で生きものを発掘し選定
- 3 郷土の歴史を深く知る
- 4 里山の恵みで楽しむクリスマスリースづくり
- 5 まちなかを彩る舞めぐり
- 6 駅から近い里山ハイキング
- 7 地元の方と一緒に山庫ひき体験



### 精明

- 1,2 泥だらけになっても楽しい田植え体験
- 3,4 固定種野菜をおいしくいただく
- 5 秋野菜の収穫体験
- 6 市内の七福神をお参り

### エコリズムとは

自然や歴史、文化を体験しながら楽しく学び、それらの保全にも責任を持つ観光のあり方です。エコツアーとは、エコリズムの考え方を実践するツアーで、飯能では「人とのふれあい」と「体験」を重視し、「地域の人が、地域の言葉で、地域を案内するエコツアー」が行われています。

### 大切にしていること

- 自然の保全と文化の継承に役立つこと
- 地域の自然や文化が題材になっていること
- 住民が地域の良さを再発見すること
- 旅行者や住民の考え方や行動が自然や環境と調和したものになること

## 飯能市エコツアーリズムの取り組み

飯能市は、東京都心から約 1 時間、埼玉県南西部にあるまちです。山地・丘陵地・台地と地形の変化に富んでいて、まちの 4 分の 3 は森林が広がり、源流から中流までの様々な川の姿を見ることが出来ます。こうした身近にある自然との共生によって、古くから人々のくらしや文化・歴史、産業が育まれてきました。

これらの身近な自然や地域の生活文化を活かしながら次の世代に残していくために、飯能市では、2004 年の環境省エコツアーリズム推進モデル事業に応募しました。同モデル地区に指定されたことを機に、市とエコツアーリズム推進協議会<sup>※1</sup> が中心となって、エコツアーリズムに取り組んできました。

2008 年には、環境省が主催する第 4 回全国エコツアーリズム大賞の「大賞」を受賞、2009 年には全国で初となるエコツアーリズム推進全体構想<sup>※2</sup> の認定を受けました（その後、改訂を行い、2015 年に再認定）。

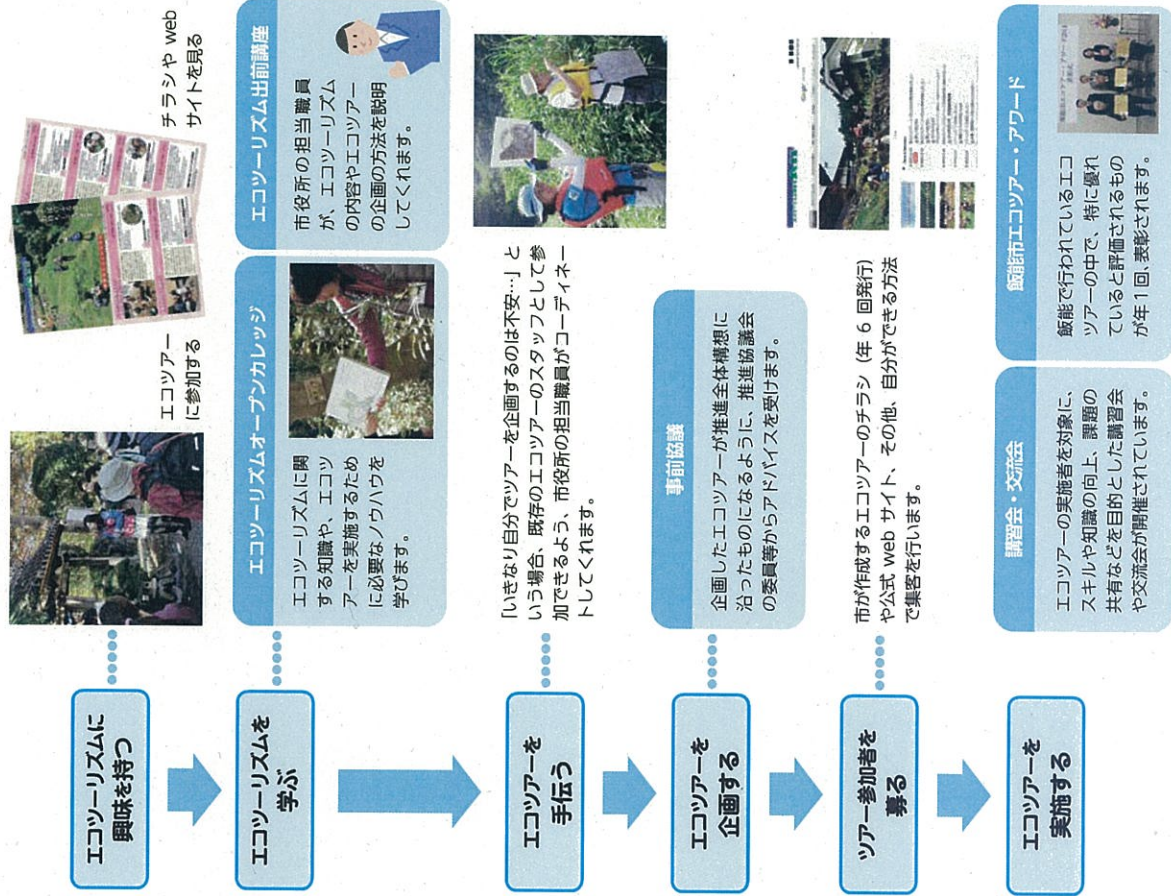
一人でも多くの飯能のファンを増やすために、引き続き市民と行政が一体となって取り組みを続けていきます。

飯能市のエコツアーリズムは、環境省が主催する第4回エコツアーリズム大賞の「大賞」を受賞しました。



2015年 推進全体構想の再認定

## 飯能市でエコツアーを実施するまでの流れ



### 飯能市エコツアーリズム推進協議会

（学識経験者、自治会・商店街・観光業・農林業などの関係者、地域の自然や文化の保護に関わる組織、関係行政機関など）

- エコツアーリズム推進法に基づく全体構想の策定、見直し
- エコツアーの企画についてチェック（事前協議）
- 飯能市エコツアーリズム推進計画に基づく事業の展開
- ガイド等の人材育成 など

報告  
意見

### 飯能市産業環境部 観光・エコツアーリズム推進課

（エコツアーリズム推進協議会事務局）

- 情報発信（広報）
- 関係者間の調整
- 新規エコツアーの支援
- 視察・取材等の問い合わせ対応 など

### ツアー実施者

（観光事業者、NPO、市民団体、活動市民の会<sup>※3</sup> など）

- エコツアーの企画、調整、実施
- 保険の加入
- 保健所への届け出（食品提供のツアー）
- 資源のモニタリング など

依頼  
調整

### 専門機関

支援

※ 1 エコツアーリズム推進協議会とは … エコツアーリズム推進法に基づき設置したエコツアーリズムに関わる地域の多様な主体の話し合いの場  
 ※ 2 エコツアーリズム推進全体構想とは … 自分たちの地域でどのようにエコツアーリズムに取り組みかをまとめた構想  
 ※ 3 活動市民の会とは … エコツアーリズムの活動を通じて、飯能の自然、歴史、文化を守り、楽しもうという市民のグループ

## エコツアーリズムで目指す地域の姿と3つの基本方針

飯能市では、エコツアーリズムの推進によって目指す地域の姿と、その実現のための基本方針を定めています。

**基本方針1**  
自然・文化・人のつばかりによって発展する活力ある地域

**基本方針2**  
すべての地域と住民の参加により、地元への誇りと愛着を育みます

**基本方針3**  
飯能市の自然を保全・再生し、文化を継承して将来へ伝えます

## 飯能市エコツアーリズム10の推進ポイント

飯能市を特徴づけている多様な自然やそで育まれてきた文化、都心から約1時間という利便性などを活かすために、エコツアーを企画・実施する際のポイントを設定しています。

ポイント1



住民が誇りとするふるさとの風景の保全、再生に活かす

ポイント2



自然を守り育む森づくりにつなげる

ポイント3



飯能市の森林文化を新たな地域の発展に活かす

ポイント4



源流から中流までの親しみ深い川の自然と文化を活かす

ポイント5



さまざまな野生生物の魅力や人との関わりを題材とする

ポイント6



身近な自然を保全、再生し、自然豊かなまちづくりに役立てる

ポイント7



地域の生活文化や年中行事などの伝統を活かす

ポイント8



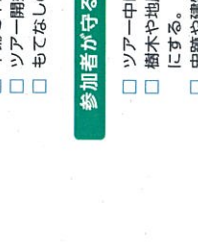
長い年月をかけて培われた伝統的な技術を新たな時代に活かす

ポイント9



地域住民の全員参加により、一人ひとりの個性を活かす

ポイント10



繰り返し訪れたり宿泊したりすることで地域の魅力を堪能できるエコツアーを用意し、飯能のファンを増やす

## 飯能市エコツアーリズムのルール

### ガイドが守るルール (要約版)

#### ■野生の動植物を守るために

- 原則として野生の生きものを捕まったり、採ったりしない。
- 観察した生きものは元の場所に戻す。
- 野草や山菜の採取は必要最小限にとどめ、根絶やしにしない。また、事前に土地所有者の了解を得る。
- 里山に生育する花の美しい植物や、希少な動植物を守るために配慮する。
- 野生の生きものに悪影響を与えないよう観察方法や観察場所を工夫する。
- 野生の生きものに餌を与えない。
- 野生の生きものに悪影響が出ないようツアー参加人数を設定する。
- 自然の管理は、専門家の助言を得て行う。
- 他地域の生きものや外来生物の持ち込みや増殖は行わない。
- 河原での直火の使用や、調理した油の川への流出、河川敷への車の乗り入れなどは行わない。
- 壊れやすい自然の場所への立ち入りは注意する。

#### ■文化を継承するために

- エコツアーでの活用が伝統文化を変えないようにする。
- 資料は丁寧に取り扱う。
- 資料の借用はできるだけ避け、コピーを取ったり、写真を撮影する時は所蔵者の了解を得る。

#### ■環境を守るために

- 川材を利用した木製品や、地元で栽培された野菜など、地元産品の利用を進める。
- 環境への負荷が少ない製品の使用を進める。
- ごみの排出を極力抑える。
- 公共交通機関の利用を考慮したスケジュールとし、参加者に公共交通機関の利用を呼びかける。
- 参加者にエコツアーリズムの目的や考え方、ルールについての理解を促す。

#### ■住民の生活環境を守るために

- 住宅の敷地や農地などに立ち入る場合は、事前に土地所有者に承諾を得る。
- エコツアーの実施日時や目的について、事前に地域住民に説明し、エコツアーへの理解を得る。

#### ■参加者の安全を守るために

- 保険に加入し、事前に補償内容を参加者に説明する。
- 緊急時の連絡先や対応などを明確にしておく。
- 下見をして危険を把握し、対策を考える。
- ツアー開始時やツアー中に、起こりうる危険を参加者に説明し、注意を促す。

#### ■より良いエコツアーとするために

- 飯能市エコツアーリズムの基本方針に沿ったエコツアーを行う。
- 定員は、参加者全員が安全に楽しめる人数設定とする。
- 準備を十分に行い、募集の際に示した内容を守る。
- ツアー開始時にスケジュールやツアーの目的について説明する。
- もてなしの心と気遣いを持ってツアーを行う。

### 参加者が守るルール (要約版)

- ツアー中はガイドの注意を守る。
- 樹木や地層、岩などに傷をつけたり、落書きをしたり、持ち去ったりしないようにする。
- 史跡や建物などに傷をつけたり、落書きをしたりしないようにする。
- 飯能に伝わる伝統文化を尊重する。
- ごみは捨てずに持ち帰る。
- 公共交通機関の利用に努める。
- ツアーの内容に適した服装や持ち物で参加する。

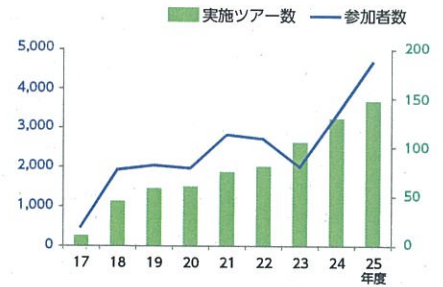


## エコツーリズムを通じたまちづくり

エコツーリズムに取り組むことで、飯能のまちにこんな効果が生まれています。

### ■ 飯能ファンの増加

「あ！こんにちは」「またお会いしましたね」-飯能のエコツアーでは、こんな会話をよく聞きます。年間約150のツアーが行われ、4000人以上の方にご参加いただく中で、飯能のファンになり、1年に何度も訪れてくださる方もいらっしゃいます。エコツーリズムは飯能の観光事業の中で大きな柱に育っています。



### ■ 地域の魅力の再発見

エコツアーの企画のために地域の人材や資源の発掘が行われ、住民が地域の良さを再発見することにつながっています。その結果、地域への誇りや愛着が生まれ、地域が元気になっています。

### ■ 里山の保全、環境教育の推進

ボランティア活動ではなくエコツアーに参加していただく中で、ブラックバスの駆除やビオトープづくり、竹の伐採などの里山の保全活動を楽しみ、環境保全意識の向上にも結びついています。遠足で訪れる小学生をエコツアーガイドが案内するなど、環境教育にも力を入れています。



### ■ 地域経済への貢献

エコツアーの中で地元食材を活用したり、市内のお店を利用したりして、地域経済へ貢献できるよう工夫しています。また、お客様にはできるだけ公共交通機関を利用していただくようお願いしており、利用機会の増加につながっています。

### ■ まちのPR

「エコツーリズムのまち飯能」として、市外・海外から大勢の方がエコツアーに参加したり、視察に来ていただいたりするようになっています。自治体や大学の研究者などによる視察は年に20回以上あり、その他にもイベントでの出展や講演、新聞やラジオなどのメディア掲載を通じて、まちのPRに役立っています。

#### 交通アクセス



#### 飯能市の位置



【西武線利用】池袋から西武池袋線で飯能駅まで約50分

【JR利用】JR八王子駅(東京都)からJR八高線で東飯能駅まで約40分  
JR大宮駅(埼玉県)からJR川越線・JR八高線で東飯能駅まで約1時間

■名栗地区等のエコツアーは国際興業バスのご利用が便利です  
時刻や路線についてはお問い合わせください  
国際興業バス飯能営業所  
☎ 042-973-1161 <http://5931bus.com/>

#### 問い合わせ先

飯能市エコツーリズム推進協議会  
飯能市役所 観光・エコツーリズム推進課

☎ 042-973-2123

📧 @hanno\_ecotour

✉ eco2@city.hanno.lg.jp

<http://hanno-eco.com/>

〒357-8501 飯能市大字双柳 1-1



作成：2015年2月